

問 放課後児童の健全育成事業で学童保育がミッキー学童クラブと太陽学童クラブの二カ所で行っているが、両クラブに障害児の児童は受け入れられてない。

答 成事業で学童保育がミッキー学童クラブと太陽学童クラブの二カ所で行っているが、両クラブに障害児の児童は受け入れられてない。

問 本町においては、小立保育所で障害児の保育を行っておりますが、学童保育については今後どのように対応する予定であるか伺いたい。

障害児の学童保育について



城間義光 議員



イメージ写真

町長 障害者も健常者も共に携えて明るい町づくりをしていこうと、障害者福祉計画を策定しており、この計画目標の達成に努力しています。今の問題については、担当課の調査、その他意見も聞き再度検討したい。

問 南地区土地区画整理事業については、先月定例会において「平成十二年四月五日以降にある程度の方角づけができるかどうか結果を待ちたい」との答弁がありました。その

答 南地区土地区画整理事業については、先月定例会において「平成十二年四月五日以降にある程度の方角づけができるかどうか結果を待ちたい」との答弁がありました。その

問 図書館建設の前進に向けて、平成十二年度の施政方針の中で町有地管理処分検討委員会及び公共用地取得計画検討委員会の設置の予算措置をしておりますが、両委員会をいつ頃設置する予定であるか。

答 図書館建設の前進に向けて、委員の選任中であり、終り次第、早めに設置したい。

問 四〇〇名以上の地権者の中から区画整理推進協議会の委員の希望者が十六名で、その中で四名しか出席していないので、再度内容を説明、協力を要請して、推進協議会を立ち上げたい。

町長 四〇〇名以上の地権者の中から区画整理推進協議会の委員の希望者が十六名で、その中で四名しか出席していないので、再度内容を説明、協力を要請して、推進協議会を立ち上げたい。

問 区画整理事業をしようとする、四〇〇名の地権者の

問 戦争遺跡の整備については、旧役場跡は周辺まで整備・保存され、弾薬のある石堀・小波津在には説明板が設置されている。このような遺跡が町民にとっては、二度と戦争をしてはいけない、平和を希求する場になれば願っている。小波津陣地跡は津記武多城跡の南西の方向、町

問 町は水害のないまちづくりのため、平成十年より小波津川の改修計画を積極的に推進し、既に基本計画の全容が公表されている。県管理の二級河川に格上げするには、地権者の

問 戦争遺跡の整備については、旧役場跡は周辺まで整備・保存され、弾薬のある石堀・小波津在には説明板が設置されている。このような遺跡が町民にとっては、二度と戦争をしてはいけない、平和を希求する場になれば願っている。小波津陣地跡は津記武多城跡の南西の方向、町

問 戦争遺跡の整備については、旧役場跡は周辺まで整備・保存され、弾薬のある石堀・小波津在には説明板が設置されている。このような遺跡が町民にとっては、二度と戦争をしてはいけない、平和を希求する場になれば願っている。小波津陣地跡は津記武多城跡の南西の方向、町



呉屋吉則 議員

問 町は水害のないまちづくりのため、平成十年より小波津川の改修計画を積極的に推進し、既に基本計画の全容が公表されている。県管理の二級河川に格上げするには、地権者の



問 マリントウタウン地内の臨港道路は、本町の開発する工業用地、多目的広場、水道事業との関連が深く、その進捗について伺います。

町長 アクセス道路について努力が足りないというところで平成三年度計画されたわけですから埋立が既に完了する時点になれば道路も出来れば幸いです。しかし現実の問題としては、国道自体が都市計画決定もまだされてない、さらに町としても南地区の区画整理事業と抱き合せて、町づくりをしようと考えて居ると、四〇〇名の地権者の

MTP事業の進捗状況とその活用について



大城好弘 議員

町長 アクセス道路について努力が足りないというところで平成三年度計画されたわけですから埋立が既に完了する時点になれば道路も出来れば幸いです。しかし現実の問題としては、国道自体が都市計画決定もまだされてない、さらに町としても南地区の区画整理事業と抱き合せて、町づくりをしようと考えて居ると、四〇〇名の地権者の

問 MTP事業は、これに直結するアクセ道路が問題になっていますが、町長は平成十三年度事業採択と聞いていますが、実際には地権者との交渉もあり数十年かかると思っています。町長の積極的取組み姿勢について伺います。

町長 体育協会の相撲部がありますけれど施設がないので、相撲場そのものが面積にして三〇〇五〇坪の少面積で、どこかにはめられないかと検討してきました。すぐには結論は出ていません。東崎公園内に充分可能であり検討するということでも説明してあります。相撲人口についてはまだ数値は把握していません。

問 MTP事業は、これに直結するアクセ道路が問題になっていますが、町長は平成十三年度事業採択と聞いていますが、実際には地権者との交渉もあり数十年かかると思っています。町長の積極的取組み姿勢について伺います。

問 新聞紙上で掲載された要介護認定の不服請求について。

町長 県の不服審査委員会が審議をし、その請求の不服を認めて採決が下されたが、その後その請求者本人がこの請求を取り下げました。

問 体育協会の相撲部がありますけれど施設がないので、相撲場そのものが面積にして三〇〇五〇坪の少面積で、どこかにはめられないかと検討してきました。すぐには結論は出ていません。東崎公園内に充分可能であり検討するということでも説明してあります。相撲人口についてはまだ数値は把握していません。

問 体育協会の相撲部がありますけれど施設がないので、相撲場そのものが面積にして三〇〇五〇坪の少面積で、どこかにはめられないかと検討してきました。すぐには結論は出ていません。東崎公園内に充分可能であり検討するということでも説明してあります。相撲人口についてはまだ数値は把握していません。

問 沖繩県・特に都市地帯における河川の整備をみると、治水を重視をしたコンクリートの整備で、子供の時に見た川のイメージはなく、大小の側溝だけが造られたのではないかと考える。その中で町が出した小波津川のイメージ図を見て、将来のまちづくりにとって、とてすばらしい考えだと思ふ。メダカやトンボが住み、人々が集い、多自然型工法の整備によって呼び戻す生物たち、将来二十年、三十年後、今まで以上に都市化が進んである西原町において、

町長 文明の進化とともにコンクリート文化がついてきて、本町でもほとんどが緑に変わってコンクリートになりつつあり、大変大きな問題だと考えている。日々開発が進んでいく中で、都市計画と合わせて水辺のまちづくりを。メダカあるいは虫飛び交う河川になればと願ってこういうことを考えている。県としても、内容を十分理解して事務的に進めている状況であり、技術的には可能だと思ふ。

問 文明の進化とともにコンクリート文化がついてきて、本町でもほとんどが緑に変わってコンクリートになりつつあり、大変大きな問題だと考えている。日々開発が進んでいく中で、都市計画と合わせて水辺のまちづくりを。メダカあるいは虫飛び交う河川になればと願ってこういうことを考えている。県としても、内容を十分理解して事務的に進めている状況であり、技術的には可能だと思ふ。

